



伊澤 伸一 議員

公共施設等の更新対策の確立を

適切な更新対策を検討していく



老朽化が進む公共施設（老人福祉センター）

問 インフラを含む公共施設の更新費用は、40年間で年平均42億円かかるかと試算されている。備えを問う。
昨年度までに計画どおり行わず、先

答 送りした事業費の総額は。総務部長▼公共建築物が74・6億円、インフラ資産が144・4億円、合計219億円となる。

問 多額の工事を先送りした理由は。

答 限りある財源の中で、優先度の低い事は先送りせざるを得ない。

問 国から公共施設等総合管理計画の見直しが求められている。改定の考えは。

答 必要に迫られた部分的な見直しをする方向で検討中。

問 公共施設の更新対策の確立を、早急にすべきと考えるが。

答 町長▼現状と財政状況など見極め適切な更新対策を検討していく。

財政健全化条例 制定の考えは

制定もあり得る中で検討する

今後3年間の財政運営計画が示された。財政運営を問う。

問 計画における令和5年度末の基金残高は。

答 企画部長▼10億8099万4000円を見込む。

問 ふるさと納税がなると仮定すると、基金残高はどうなる見込みか。

答 3億1900万6000円不足する。

問 将来に責任を持つため、財政健全化条例制定の考えは。

答 町長▼条例制定もあり得る中で、今後も検討を加えることを約束する。

荻の空家事業は 町がやるべきか

荻地区の将来に向け実施したい

荻地区の魅力あるまちづくりに必要だとし、公費投入で行われる、荻の古民家活用事業の是非を問う。

問 荻区からの要望で行う事業か。

答 企画部長▼荻区からの要望ではない。以前に賃借料は町の基準と答弁されている。所有者は了解しているか。

答 不動産鑑定後、この価格をベースに所有者と賃借料を決定していく。

問 いつまで使えるかわからない、荻の空家事業は町がやるべき事業か。

答 荻地区の将来に向けて、またコロナ禍の働き方改革対応のためにも実施したい。

問 地域、議会に説明責任を果たしてから進めたい。工事内容や工事費など丁寧な説明を心がけていく。



都築 一三 議員

烏八臼に文化財の看板を

正確な記載が求められる



大草狭間にある烏八臼

問 烏八臼に文化財の看板を。

答 教育部長▼しっかりと調べた調査に基づいて正確な記載が求められるため、回答は控

問 えさせて頂く。北部地域大草神社前にある文化財、烏八臼の将来を含めて、墓地公園を考えられるか。

答 環境経済部長▼各地域の共同墓地などを活かし、共同墓地内における新規区画の整備費を、令和2年度から補助を拡充している。

問 六栗団地北部の観音寺跡も樹木葬の公園墓地を。

答 住民のニーズを的確に把握しながら検討を重ねていく。

問 町長にお聞きする。世界に一つしかない二子侘助を町のPRに利用して町民に広く知ってもらいたい。

答 町長▼椿に関わる由緒ある話は、語り継ぐ事は工夫してみる価値はあると思う。

問 七代松平忠雄公の墓地から出土した祝婚グラスを活用しないのか。

答 教育部長▼所有者・管理者から、町の事業において深溝松平家の名前や家紋など、

使用の許可を頂いている。現在、グッズなどの制作を検討している。

問 国宝級の絵解き座活用で、子どもと親のコミュニケーションを提案する。

答 政教分離の関係上、行政が主催することはハードルが高い。

【※烏八臼】
大草狭間にある宝塔型の墓。大正の始め頃、考古学者達から烏八臼墓と呼ばれ、研究されていた。「幸田文化めぐり」より

各区の風を三河武将で埋めては

地域の独自性を描いたもので

問 額田町のおおだの森はモミジと桜の美しい山(標高235メートル)ですが、その山に子どもたちと登

られた当時の様子は。教育部長▼校長として全児童、数十人と桜の山となるよう灰をまきに行った。子どもたちが成長して、ふるさとの山に自分たちが木を植えたよ、灰をまいたよとの体験が大事であると思う。

問 風揚げまつりに、各区の風を三河武将の絵柄で、幸田の空を埋め尽くしては。幸田の知名度が上がり、全国に幸田町をPRできるのでは。

答 教育部長▼地域の独自性で描いたものでよいと思う。

のでよいと思う。